

● 環境省からのお知らせ ●

「なすびのギモン パート13」第1回・第2回が放送されました



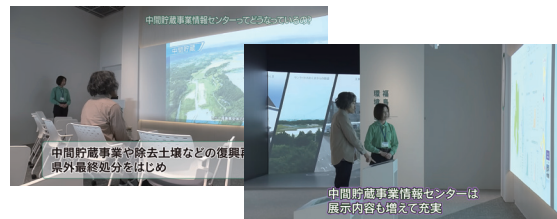
テレビ番組「なすびのギモン パート13」第1回・第2回が福島放送(KFB)で放送されました。

福島市出身のタレント・なすびさんが実際に現地取材し、除染や放射線に関する様々なギモンや環境再生への取り組みなどを分かりやすくレポートします。

第1回放送 2025年7月29日(火)21時50分～

テーマ「中間貯蔵事業情報センターってどうなっているの？」

2025年3月15日、大熊町のCREVAおおくまに移転リニューアルオープンした「中間貯蔵事業情報センター」を訪れました。



第2回放送 2025年9月30日(火)21時50分～

テーマ「『ながどろひろば』ってどんなところなの？」

2025年4月25日にオープンした「花の里 ながどろ 環境再生情報ひろば(愛称:ながどろひろば)」を訪れました。



※ なすびのギモン公式ホームページでアーカイブ視聴ができます。
ぜひご覧ください。

なすびのギモン

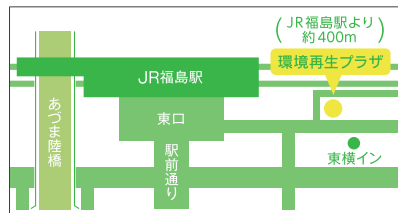
検索



環境省の情報発信拠点

見学会やイベント等の詳細につきましては、各施設にお問い合わせ下さい

● 環境再生プラザ



- 所在地 福島県福島市栄町1-31 1階
- 開館時間 10:00～17:00
- 休館日 月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 電話番号 024-529-5668



福島環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。
常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



- 所在地 福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7
- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 電話番号 0240-23-7781



特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。
毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 中間貯蔵事業情報センター



- 所在地 福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野116番5 CREVA おおくま(大熊町産業交流施設)1階
- 開館時間 9:00～17:00(最終入館16:30)
- 休館日 火曜日、年末年始(火曜日が祝日の場合は翌平日)
- 電話番号 0240-25-8377



中間貯蔵事業、除去土壌等の復興再生利用及び県外最終処分をはじめとする福島の復興・環境再生の取り組みについて紹介しています。
毎月、中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 花の里 ながどろ 環境再生情報ひろば



- 所在地 福島県相馬郡飯舘村長泥字長泥815-1
- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 水曜日、年末年始 ※冬期は積雪の状況により閉館することもあります
- 電話番号 090-9370-2590



飯舘村長泥地区で実施されている環境再生事業の経緯や概要、福島県内で発生した除去土壌の復興再生利用や最終処分について紹介しています。
定期的に長泥地区環境再生事業見学会(事前申込制)を開催しています。

飯舘村長泥地区の未来へ(Part5) 2025.10月 ～知る・見る・体験する。ながどろひろばの今～

ふくしま 環境再生 Vol.36



ながどろひろば外観

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。

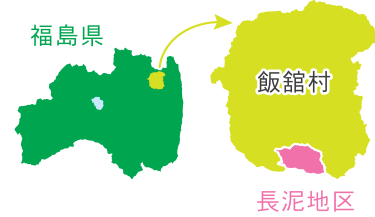


環境省 福島地方環境事務所

飯舘村長泥地区にオープンした広報施設「花の里 ながどろ 環境再生情報ひろば」についてご紹介します。

愛称「ながどろひろば」ってどんなところ？

長泥地区で実施されている環境再生事業の経緯や概要、福島県内で発生した除去土壌の復興再生利用や最終処分について情報を発信しています。各種展示や交流スペースを設け、訪れた方と地元住民の方とが交流できる親しみやすい空間となっています。



飯舘村長泥地区について

6年間の全村避難を経て、飯舘村で唯一の帰還困難区域に指定されていた長泥地区では、2023年5月に特定復興再生拠点区域などで避難指示が解除されました。

長泥地区環境再生事業

ここでは、村内の除染で発生した土壌のうち放射能濃度の低いものを、農地の盛土材に利用する実証事業を実施しています。

環境再生事業周辺マップ



5 造成後の農地



水田試験等により、農地としての機能や放射線に関する安全性を確認しました(2023～2024年度)。



2025年4月に、飯舘村、地権者に引き継ぎされました。

知る

パネルや模型、動画により『震災からこれまで』や『環境再生事業』について知ることができます。あわせて飯舘村に関する情報も展示しています。



見る

ビニールハウスでは花き栽培、屋外では再生資材化された除去土壌を利用して造成した農地を実際に見ることができます。



体験する

交流スペースで押し花作製体験ができます。地元の方と交流する機会もあります。見学会では放射線の測定を体験できます。



来館者の声

SNSなどを活用してずっと応援していきます。共に頑張りましょう！

住民の方のお話を伺えたことが良かったです。

実際に線量を測って、再生利用の安全性を目で見て感じることができました。

とても自然豊かな土地だと感じました。美しい「ふるさと」が戻る日を楽しみにしています。



生花やドライフラワーなどの展示

ながどろひろば、ビニールハウスは
いずれも**入館料無料**です。
お気軽にお立ち寄りください！

利用案内・アクセスは裏面をご覧ください。

長泥地区環境再生事業見学会・団体見学について

- 一般の方を対象に定期的に見学会を開催しています。
- 団体での見学もできます。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ：中間貯蔵事業情報センター

✉: johocenter@jesconet.co.jp ☎: 0240-25-8377

参加無料・事前申込制

＼ 詳細はこちら ＼



Column コラム

インタビュー「すべての農地で早く営農が再開できれば」

農の再生に向けて、地元住民の方にアドバイスいただきながら、協働で栽培を行っています。それぞれの想いをお聞きしました。

喜一さん

4工区は今春に引き継がれ、今年と来年の2年試験栽培をして、出荷可能な作付けはそれから。残るエリアも含めて、すべての農地で早く営農が再開できればいいなと思っています。

清子さん

長泥にきて36年経ちます。長泥の青年会や子供会、どれも楽しい思い出。それがなくなったのがすごく寂しいのね。長泥の人たちと離れたくない。みんなでミーティングなんてしたらどうかなって思うの。どんな気持ちでいるかって。

良友さん

最近の目標は長泥の人たちをつなぐ「友の会」をつくること。趣味ごとに集まったり、みんなで盆踊りをしたりするのを夢見てる。大事なのは「勇気と実行」。ながどろひろばでは、生の声を聞きたい人と語り合いたい。何かを感じて、拾っていつてもらいたい。



(左から)
しょうじきいち 庄司 喜一さん、
かんのきよこ 菅野 清子さん、
しぎはらよしとも 嶋原 良友さん